

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		原方・長岡運動広場管理運営事業						事業区分		担当	
								新規/継続	継続	事務事業No.	040102000864
政策体系	政策体系上の位置付け						単独/補助	単独	所属課	050101	
	総合計画の施策名		0401 農林業の振興							農林課	
	政策名		04	活力ある産業のまちづくり						課長名	
	施策名		01	農林業の振興						グループ	
	手段名		02	②農業の効率化推進						担当者名	
財務会計上の位置付け								事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し（年度～）			
	01	06	01	09	04	00	真壁運動広場管理事業	↳ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			
法令根拠	桜川市運動広場の設置及び管理に関する条例										

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 運動広場 (真壁地区) の維持管理業務 ・原方運動広場 ・長岡運動広場
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・使用申請の受付、許可書発行 ・各運動広場の確認 ・土地借上料支払 ・光熱水費支払 ・トイレ清掃業務 ・不具合時連絡対応 (現場確認及び修繕)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
・使用申請の受付、許可書発行 ・各運動広場の確認 ・土地借上料支払 ・光熱水費支払 ・トイレ清掃業務 ・不具合時連絡対応 (現場確認及び修繕)		委託契約件数	件	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		賃貸借契約件数	件	16.00	16.00	16.00	16.00	16.00	
		修繕件数	件	2.00	2.00	1.00	0.00	0.00	
		使用申請件数	件	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
各運動広場		運動広場数	箇所	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
清掃・除草棟の施設管理を行い適正に管理する。		苦情件数	件	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量（事業費）の推移				01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)			期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	0	0		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	5,803	2,769	6,399		0
			事業費計（A）	千円	5,803	2,769	6,399		0
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			
事業費の内訳	02年度事業費 実績（千円）					03年度事業費 予算（千円）			
	10 需用費	241				10 需用費	220		
	11 役務費	25				11 役務費	43		
	12 委託料	582				12 委託料	365		
	13 使用料及び賃借料	1,921				13 使用料及び賃借料	1,921		
						14 工事請負費	3,850		

事務事業名	原方・長岡運動広場管理運営事業	事務事業No.	40102000864	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
住民の憩いの場として、スポーツを通して親交を深め地域の活性化を目的として整備され、有効活用してもらうため清掃及び維持管理を行っている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
施設の充実化					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	☒ 結びついている 市で整備し、地域住民の利用が目的であるため政策に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	☒ 妥当である 市で整備した運動広場であり、地域住民の憩いの場とするため妥当である。
効率性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	☒ 向上余地がない 現状ではこれ以上の向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	☒ 影響有 維持管理ができず荒地となる可能性がある。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） ☒ 具体的な手段、事務事業名 施設管理 等
	☒ 統廃合ができる 他の類似施設（スポーツ施設）と一括管理ができると思われる。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	☒ 削減余地がない 利用者の協力を得ながら管理し、必要最低限の事業費で行っているため、事業費の削減は出来ないが、他の類似施設（スポーツ施設）と一括管理ができれば、人件費の削減は出来ると思われる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	☒ 公正・公平である 運動広場が対象であり公平、公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	施設管理が主な事業内容であり、類似施設と一括管理が可能と思われる。 令和2年度は長岡グランド進入路の樹木伐採を実施。令和3年度は原方運動広場のトイレ改修工事を予定している。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		（複数回答可） ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
施設の一括管理には他課との調整が必要となる。類似する施設を管理する課と協議を行っていく。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 ☒ ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐